

# トルクエクステンションバーシリーズ取扱説明書

インパクトレンチでボルトを締める時、このトルクバーを使うと  
規定のトルク値以上は締まりません。

なぜならば、必要以上のトルクがトーションバー[ねじり棒バネ]の原理により  
逃がされるからです。

但し、インパクトレンチの出力と各種トルクバーの設定条件が一致する場合のみです。  
インパクトレンチのパワーが高過ぎる場合や低過ぎる場合には、  
正しい効果が発揮できません。

★トルクバーの型式と適応範囲 差込 1/2 インチ[12.7 ミリ] 精度±5%

型式	設定トルク	★必要な入力トルク
HEN-487065	90Nm [グリーン]	★140Nm
HEN-487075	100Nm [ブラック]	★150Nm
HEN-487080	110Nm [イエロー]	★160Nm

使用方法…

①インパクトレンチは空気圧 7 kg f/c m<sup>2</sup>で作動するものを基準に設計されています。

②考え方として HEN-487080 の 110Nm [イエロー] を使用する場合 **110Nm×1.5 倍で  
約 160Nm** の入力が必要となります。★**1.5~2 倍までが許容範囲です。**

例として空研製 KW1600[出力 100-300Nm]を使用した場合、  
ダイヤル 1 で 100Nm、ダイヤル 2 で約 150Nm、ダイヤル 3 で約 200Nm、  
ダイヤル 4 で約 250Nm、ダイヤル 5 で約 300Nm という出力設定と  
なっていますが、**約 160Nm** の入力が必要なので**ダイヤル 3 の約 200Nm** で  
締め付ければ問題ありません。

これが例えば空気圧 12 kg f/c m<sup>2</sup>で作動させると単純に入力が2倍になるので  
**ダイヤル 3 の約 200Nm→400Nm** となり完全にオーバートルクです。

必ず空気圧は 7 kg f/c m<sup>2</sup>での使用としてください。

③インパクトレンチの消耗状態や種類、空気圧やホースの径、締め付けるボルトの  
状態などにより出力は変化します。またお使いのインパクトのスペックが  
不明な場合は締め付け後にトルクレンチで確認してください。

ボルトが動く場合はパワー不足です。インパクトのパワーダイヤルを  
1クリック上げて再度確認してください。

★使用状態や状況により製品寿命に差が出ますのでご了承下さい。

お問い合わせ (株)ハスコー TEL048-461-0101 Fax048-461-1177